



JOC「アスナビ」について

- 高校や大学を卒業後も競技を続けたいと考えているアスリートにとって、活動資金と生活費を安定的に確保しながら競技を続けていくのは簡単なことではありません。自らの実績を武器に営業してスポンサーを獲得するか、競技活動に理解を示してくれる企業を見つけて就職活動をするかを考えなくてはなりません。
- そこでJOCでは、オリンピック・パラリンピック大会を目指すトップアスリートが安心して競技を続けられる環境を作るために、企業のサポートを望むアスリートと、雇用側である企業とをマッチングさせることを目的とした活動である「アスナビ」を、平成22年10月より開始しました。
- また、平成26年8月、JOCと日本パラリンピック委員会（JPC）が協定を結び、パラリンピックを目指すアスリートの就職支援も開始しました。
- 「アスナビ」を通じて、108名のアスリートが78社の企業に就職しました。
(平成28年6月30日現在)

JOC「アスナビ」 問い合わせ先

JOCキャリアアカデミー アスナビ担当

FAX : 03-5963-0356

E-mail : career@joc.or.jp

電話番号 : 03-5963-0354 (平日10:00~18:00)

FAX・E-mailを
優先させて
いただきます。

アスリート・キャリアサポート事業 問い合わせ先

【問い合わせ先】

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

競技力向上事業担当

電話番号 : 03-5413-7557 (平日9:30~17:00)

F A X : 03-5413-6926

E-mail : tokyo-sss@tef.or.jp

当事業に
少しでも興味を
持たれた方は、お気軽に
お問い合わせください。

【運営元】

東京都オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部

事業推進課 競技力向上担当

電話番号 : 03-5320-7715

アスリート・キャリアサポート事業

Athlete Career Support

For ATHLETES



現役アスリートの皆様へ



オリンピックやパラリンピックの舞台で活躍するためには・・・

⇒生活が安定した状態で、競技活動にまい進することが必要です。

就職することができれば・・・

⇒経済的に安定し、競技活動に集中できます。



同僚や上司の皆様から応援を受ければ・・・

⇒応援を力に変えて、さらに競技力を高めることができます。



そこで、就職に向けて役に立つ情報を**提供**します！

アスリート・キャリアサポート事業について

東京都

アスリート・キャリアサポート事業

アスリート対象※

- ①スキルアップセミナー
- ②先輩アスリートとの交流

※都内在住、在学又は在勤の現役アスリート

企業対象※

- ③企業向け説明会

※都内に事業所を有する企業

JOC
「アスナビ」へ

JOC

トップアスリート
就職支援ナビゲーション
「アスナビ」
(平成22年10月スタート)

トップアスリートと
企業のマッチング



- アスリート・キャリアサポート事業では東京2020大会に向け、世界を目指す現役のトップアスリートが就職できるためのサポートをします。
 - その後(公財)日本オリンピック委員会(以下、「JOC」という。)が実施するアスリートと企業のマッチング事業である「アスナビ」につなげていきます。
- ※「アスナビ」の登録・利用については、JOC「アスナビ」担当へご確認ください。

事業内容

スキルアップセミナー

就職に役立つスキルやノウハウを**提供**します！

- 履歴書の書き方や採用面接での上手な受け答え、電話対応の方法などのセミナーを、プロの講師をお招きして実施します。
- 年3回実施予定
- 参加費無料



スキルアップセミナー

先輩アスリートとの交流

就職活動に向けたきっかけづくりに！

- 競技活動と仕事を両立している先輩アスリートをお招きし、就職を目指したきっかけや就職して良かったことなどの体験談を話していただきます。
- 年3回実施予定
- 参加費無料

就職活動とは何か？ 仕事の内容は？
そんな疑問に先輩アスリートが
お答えします！



先輩アスリートとの交流

JOC「アスナビ」を通じて就職したアスリートの声

VOICE



A選手

- 社会人として働く場を得て、視野が大きく広がりました。
- 社員の皆さんの応援、暖かい声援のおかげで、苦しい時も乗り越えることができ、オリンピックでメダルを取ることができました。

- 競技と仕事の両立によって、時間に制約はできたものの、その分集中して競技生活に取り組むことができました。
- 就職して外の世界を見ることができました。また、競技を支えてくれる人たちと一緒に働けることがうれしいです。



B選手



C選手

- 競技の練習時間も十分に取れないまま大会に参加する現状でしたが、競技優先の勤務形態を認めていただき、仕事と競技をリズムよく切り替えられるようになりました。